

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2
主な質疑	3
3月定例会 議案等審議結果一覧	4
平成25年度当初予算審査	5
委員会研修報告	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

# 議会だより

発行  
那須烏山市議会  
編集  
議会広報委員会  
事務局  
☎0287-88-7114



はじめての校歌せいしょう？荒川小学校入学式（4月9日）

3月定例会を3月5日(火)に招集し、3月15日(金)までの11日間の会期で行いました。提出された議案等の審議の結果は4ページに掲載しております。  
\*なお、議決した議案の内容など、詳しくは「広報那須烏山第91号」をご覧ください。

## 一般質問議員と質問項目(質問順)

**久保居 光一郎** 議員

- 1 JR烏山線沿線の活性化事業について
- 2 デマンド交通の試行運転状況と今後の展開について
- 3 人・農地プラン計画策定後の取り組みについて
- 4 道の駅構想について

**川俣 純子** 議員

- 1 烏山線利用推進について
- 2 ペットの管理について
- 3 こども医療費助成制度について

**平塚 英教** 議員

- 1 本市公共施設の耐震化、長寿命化対策について
- 2 烏山線沿線活性化、駅周辺整備について
- 3 災害時や降雪等の対策の民間協力について
- 4 生活保護基準の引き下げ問題について
- 5 「空き家」対策について
- 6 本市の学校教育について

**小森 幸雄** 議員

- 1 開催予定の国民体育大会について
- 2 公共施設跡地利用計画について
- 3 平成24年度補正予算について
- 4 市公共交通再編整備計画について

**渋井 由放** 議員

- 1 市こども読書活動推進計画について
- 2 「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律(障害者優先調達推進法)について
- 3 水道水源の確保と水道施設の老朽化対策について
- 4 中心市街地活性化法について
- 5 ゴミ袋値上げについて

**平山 進** 議員

- 1 救急医療情報キット導入について
- 2 元気老人の施設拡充と整備が必要ではないか
- 3 広域消防本部新設東側農道の拡幅が必要ではないか

**樋山 隆四郎** 議員

- 1 高齢化社会について
- 2 危機管理の問題について

※赤太字になっている項目は、本紙2ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

## 議会の動き

平成25年1月

26日 ○議会だより第28号発行

### 2月

8日 ○議員研修会

22日 ○総務企画常任委員会

27日 ○議会運営委員会

○議員全員協議会

○経済建設常任委員会委員による農業

関係意見交換会

### 3月

5日 ○第2回定例会(15日まで)

12日 ○各常任委員会(13日まで)

14日 ○議員全員協議会

15日 ○再生可能エネルギー促進条例制定特別委員会

○学校給食センター建設工事及び公共工事調査特別委員会

○議会広報委員会

### 4月

10日 ○経済建設常任委員会委員による那須

烏山市商工会建設

業活性化委員会との

意見交換会

11日 ○議会広報委員会

○学校給食センター

建設工事及び公共

工事調査特別委員会

17日 ○議会広報委員会

24日 ○議員全員協議会

平成25年3月定例会

一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

JR烏山線沿線の活性化事業について

久保居光一郎議員

(問) 先般JR烏山線沿線整備・観光振興検討委員会が設置されたが、その委員会の構成と事業の骨子案について伺う。

◎市長 委員会の構成は副市長をトップに関連団体・有識者等の15名である。骨子案は平成25年度の実施を目指す事業は観光物産センター跡地を含む大金駅周辺整備・JR烏山線開業90周年市単独事業・沿線花公園美化事業及び観光誘客PR事業の4項目である。

会で事業内容を決定するよ... だが拙速過ぎないか。短絡的な事業であってはならない。将来に亘り継続発展させる確固たる戦略を立ててはと思うがいかがか。

◎副市長 今年の3月末には市長に答申となっているが関係機関とも連携を図りながら実施したい。また委員会は継続するのでご意見も踏まえて検討したい。

こども医療費助成制度について

川俣純子議員

(問) こども医療費助成制度のおかげで助かっている方は多くいると思われるが医療機関の窓口で一度支払をして、領収書を市役所の窓口で提出して現金を受け取ることに手間がかかるのか。

◎市長 医療費の現物支給にすると、県のこども医療対策費補助金が2分の1から4分の1に引き下げられ約600万円の減額となる。また、本来市の歳入となる国民健康保険の国庫補助負担金が一部減額される。

しかし、市としてこども医療費、重度心身障害者医療費などにも入院時の食費の助成を取り入れ、経済的負担を軽減できるようにした。

本市公共施設の耐震化、長寿命化対策について

平塚英教議員

(問) 中央高速道路笹子トンネル崩落事故に象徴される古い設計基準で建設された老朽化が進む公共施設等の危険性が指摘されている。本市における公共施設、橋、トンネル等の安全点検と長寿命化修繕計画を伺う。

◎市長 市が管理するトンネルは小白井と二箇の2本。年度内の照明電球取り換えに合わせ、コンクリート打音点検を実施する。橋は市が管理するもの146橋の内、主要40橋について橋梁長寿命化点検を実施し、修繕計画を策定している。整備に当たっては国の有利な補助事業やPFI等の導入も検討するために平成25年度に橋梁長寿命化検討委員会を設置して、官民協働で実現を図ってまいりたい。

市営住宅9団地129戸、市有住宅2団地3戸あるが築30年以上が多数。平成22年度に市営住宅の点検調査を実施し、公営住宅等長寿命化計画を策定しており、25年度に公営住宅長寿命化検討委員会を設置して今後の整備の仕方や若年世帯を対象とした住宅も検討して行きたい。

開催予定の国民体育大会について他

小森幸雄議員

(問) 2022年、第77回国民体育大会が栃木県で予定をされている。同じ施設で全国障害者スポーツ大会も開催される。

体育館、武道館が建て替えるの時期に来ており、これも踏まえ国体競技を誘致し那須烏山市のPRと観光客の獲得に力を注いではどうかと考えるが。

◎市長 全国にPRする絶好の機会である。あらゆる機関の協力を仰ぎ全庁体制で取り組んでいく。

平成26年度の早い時期に対応していく。



震災による被害のため休館中の南那須武道館

障害者優先調達推進法について

渋井由放議員

(問) 国等による障害者就労施設等からの物品の調達の推進に関する法律(障害者優先調達推進法)が平成25年4月1日から施行される。当市はどのような計画を立てているか。

◎健康福祉課長 現在、庁内できりまとめ中である。健康福祉課、管財を含む総務課を中心とし進めている。

(問) 12月定例会でこの法律の一般質問をした。法律は知っているかと問うと、教育長は法律は知っている、とはつきり答えた。民間でも支援を一生懸命やっているところがあるのに当市は調整中である。とても、とても聞いていただけるような話じゃないか。

救急医療情報キット導入について

平山進議員

(問) この救急医療情報キットとは、高齢者、障害者、健康に不安を抱えている人が安全、安心を確保する為にかかりつけの医師、持病、医療、薬剤情報、保険証の写しを専用の容器に入れ冷蔵庫に保管し、万が一の時連絡先等の記載があれば、駆けつけた救急隊員が適切、迅速な処置が行える。本市でも導入すべきと思うが市長の考えを伺う。

◎市長 救急医療情報キットは必要な医療、薬剤情報などを専用容器に入れ冷蔵庫に保管し、一人暮らしの高齢者などが急病の際に、救護が円滑に行われるために備えて置くものである。本市では、平成25年度に導入に向け当初予算に計上した。

配布対象者は一人暮らし高齢者世帯、重度障害者、希望者には無償で配布したいと考えている。救急医療情報キットを多くの人が活用され、いざと言う時に役立つてくれればと思っている。

高齢化社会について

樋山隆四郎議員

(問) 社会的孤立、交通空白地、日常生活困難者が増加する中、当市ではどんな対策が取られているか伺う。

◎市長 本確の高齢化社会の到来を迎えている。現在、本市における高齢者のみ世帯が1671件で、年々増加の傾向にある。住みなれた地域で安心して老後を暮らせる政策として、民生委員が年1回訪問して、身体状況又緊急連絡先等を調査。そのほか随時見守りや相談活動を行い、社会的孤立を防止している。また、地域の包括支援センターが中心となって、民生委員、自治会、民間事業者、郵便局等地域の人々が高齢者を見守るネットワークを構築し、声かけ運動や情報提供などを実施している。車を持たない高齢者の移動手段については福祉タクシー、福祉バス、外出支援サービス、デマンド交通等により対策を講じている。配食サービスは、市として週1回個人負担300円で行っているほか、社会福祉協議会でも月1〜2回実施。民間では毎日朝昼晩の3食配食サービスする事業者もある。

市営住宅2団地3戸あるが築30年以上が多数。平成22年度に市営住宅の点検調査を実施し、公営住宅等長寿命化計画を策定しており、25年度に公営住宅長寿命化検討委員会を設置して今後の整備の仕方や若年世帯を対象とした住宅も検討して行きたい。



市の管理する小白井トンネル

市営住宅9団地129戸、市有住宅2団地3戸あるが築30年以上が多数。平成22年度に市営住宅の点検調査を実施し、公営住宅等長寿命化計画を策定しており、25年度に公営住宅長寿命化検討委員会を設置して今後の整備の仕方や若年世帯を対象とした住宅も検討して行きたい。

市営住宅9団地129戸、市有住宅2団地3戸あるが築30年以上が多数。平成22年度に市営住宅の点検調査を実施し、公営住宅等長寿命化計画を策定しており、25年度に公営住宅長寿命化検討委員会を設置して今後の整備の仕方や若年世帯を対象とした住宅も検討して行きたい。

市営住宅9団地129戸、市有住宅2団地3戸あるが築30年以上が多数。平成22年度に市営住宅の点検調査を実施し、公営住宅等長寿命化計画を策定しており、25年度に公営住宅長寿命化検討委員会を設置して今後の整備の仕方や若年世帯を対象とした住宅も検討して行きたい。

市営住宅9団地129戸、市有住宅2団地3戸あるが築30年以上が多数。平成22年度に市営住宅の点検調査を実施し、公営住宅等長寿命化計画を策定しており、25年度に公営住宅長寿命化検討委員会を設置して今後の整備の仕方や若年世帯を対象とした住宅も検討して行きたい。

# 主な質疑

3月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。  
 会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

## 債権管理条例の制定について

議員 市の債権を、一括整理して徴収するのにか。  
 事務課長 徴収は従来どおり担当課ですが、方法を統一して実施する。

議員 水道料が、公債権から私債権に変更、時効が5年から2年になったが、2年間滞納されているものは3年目には不納欠損になるのか。

議員 特定法人の多額の滞納処理は。  
 事務課長 税法や国税徴収法により督促、催告等を実施している。今後さらなる検討を進めていく。

議員 特定法人の多額の滞納処理は。  
 事務課長 税法や国税徴収法により督促、催告等を実施している。今後さらなる検討を進めていく。

## 放課後児童健全育成事業実施条例の制定について

議員 烏山地区の放課後児童クラブは学校敷地内の利用ができないか。  
 教育長 学校教育課長と子ども課長が十分協議し、最大の努力をする。

## 市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定について

議員 行動計画策定期と目標値は。  
 健康福祉課長 厚生労働省は6月程度に方針を出す。本市もその方針等を見ながら早期の対応をし、歯と口腔の健康を通して、県内でもトップレベルの目標値を立てたい。

## 市営住宅等の整備基準に関する条例の制定について

議員 老朽化した市営住宅今後の考え方は。  
 都市建設課長 平成25年度委員会等で十分調査し、今後の方針を決めていきたい。

## 証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について

議員 改正の内容について伺う。

## 平成24年度一般会計補正予算について

議員 衛生費の中の予防費がかなり減額となっているが、接種率が低かったのか。  
 健康福祉課長 対象は高齢者インフルエンザと肺炎球菌の予防接種。若干余裕を持った予算であり、接種率は例年どおりである。

議員 接種率は定期予防接種が9割程度。ヒブワクチンと小児用肺炎球菌が3割。子宮頸がん予防接種が6割である。  
 議員 生活保護費増額の理由とは何か。また生活保護件数は。  
 福祉事務所長 増額の内容は平成23年度分の国への返還金1621万円である。生活保護件数は120世帯180名である。

## 平成25年度当初予算に関する総括質疑

議員 地上デジタル放送難視聴対策はどの地区で何件分なのか。

議員 ねんりんピック栃木2014の開催場所、また、25年度予算の使途について伺う。  
 健康福祉課長 本市は俳句大会の会場になり、烏山城カントリークラブを予定している。200万円の予算は今年リハーサル大会をするための準備経費である。  
 議員 文武両道教育推進事業とは。  
 学校教育課長 基礎学力の向上はもとよりスポーツ、武道、芸術等の両立を図るための事業であるが、今年度は検討委員会の予算である。  
 議員 「夢の教室」とはどのような事業か。  
 生涯学習課長 主なものは日本サッカー協会が行っている事業である。Jリーグで活躍した選手やその他のスポーツ選手が、小学5年生を対象に2時間講演と実技指導など、クラスごとに授業を行う経費である。  
 議員 市職員の給与削減について伺う。

議員 総務省から、国家公務員の給与を7.3%引き下げるので、市町村も同調するよう要望がきているが、職員数を合併時から20%程度削減しているの、市長会を通じて反対している。  
 議員 障害福祉費について伺う。施設整備関連分か。  
 健康福祉課長 障害者介護給付費で、訓練や厚生医療費の給付分であり、施設整備費ではない。施設整備費は介護施設開設準備経費助成事業費と社会福祉設備費で計上している。  
 議員 放課後児童健全育成事業費の増額について伺う。  
 ことも課長 利用料の徴収も委託業者にお預けし、差額を委託料として支払っていた従前の取扱いを愛したため、その利用料が増額となった。  
 議員 評価替えによって固定資産税が上がったと聞か、また、市の税収は増加したのか。  
 事務課長 評価替えは3年おきに行い、24年度は実施の年。評価方法を変更した何件かから、クレームは来ている。全体では固定資産税は前年に比べ減額され、36%の減になっている。  
 議員 こぶしの湯の方向性を伺う。  
 商工観光課長 解体を予定していたが補助金の関係で国と協議中であること、また、治山工事の遅れなどもあり解体は26年以降



震災で壊滅的な被害を受けたこぶしの湯



市のイメージキャラクター「右から「からまる」「こなす姫」「やまちゃん」

### 3月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
請願書第1号	下水道料金 汚水排水量別枠設定について	小森 幸雄	採 択
請願書第2号	市道滝田坂下線の整備について	田島 信二	採 択

### 3月定例会の本会議日程と傍聴者数

月 日	内 容	傍聴者数
3月 5日(火)	開会・上程・採決・付託	4人
3月 6日(水)	一般質問	13人
3月 7日(木)	一般質問	6人
3月 8日(金)	新年度予算総括質疑	2人
3月15日(金)	報告・上程・採決・閉会	7人
	計	32人

# 3月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等		審議結果	議案等		審議結果
議案第1号	議会委員会設置及び運営条例の一部改正について	可決	議案第36号	市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	可決
議案第2号	議会会議規則の一部改正について	可決	議案第37号	都市公園設置、管理及び使用料条例の一部改正について	可決
議案第18号	債権管理条例の制定について	委員会へ付託→可決	議案第38号	下水道設置、管理及び使用料条例の一部改正について	可決
議案第19号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の制定について	委員会へ付託→可決	議案第39号	農業会館設置及び管理条例及び八ヶ代コミュニティセンター設置及び管理条例の廃止について	可決
議案第20号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の制定について	委員会へ付託→可決	議案第10号	平成24年度一般会計補正予算(第6号)について	可決
議案第21号	放課後児童健全育成事業実施条例の制定について	委員会へ付託→可決	議案第11号	平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第22号	新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	委員会へ付託→可決	議案第12号	平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第23号	市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定について	委員会へ付託→可決	議案第13号	平成24年度介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第24号	市道の構造の技術的基準及び道路標識の寸法に関する条例の制定について	委員会へ付託→可決	議案第14号	平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第25号	市営住宅等の整備基準に関する条例の制定について	委員会へ付託→可決	議案第15号	平成24年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第26号	高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の制定について	委員会へ付託→可決	議案第16号	平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第27号	水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の制定について	委員会へ付託→可決	議案第17号	平成24年度水道事業会計補正予算(第3号)について	可決
議案第28号	証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について	可決	議案第3号	平成25年度熊田診療所特別会計予算について	委員会へ付託→可決
議案第29号	職員等旅費条例等の一部改正について	可決	議案第6号	平成25年度農業集落排水事業特別会計予算について	委員会へ付託→可決
議案第30号	職員定数条例の一部改正について	可決	議案第7号	平成25年度下水道事業特別会計予算について	委員会へ付託→可決
議案第31号	消防団設置条例等の一部改正について	可決	議案第8号	平成25年度簡易水道事業特別会計予算について	委員会へ付託→可決
議案第33号	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理について	可決	議案第9号	平成25年度水道事業会計予算について	委員会へ付託→可決
議案第34号	こども医療費助成条例等の一部改正について	可決	議案第3号	再生可能エネルギー促進条例制定特別委員会の設置について	可決
議案第35号	道路占用料徴収条例の一部改正について	可決	議案第4号	学校給食センター建設工事及び公共工事調査特別委員会の設置について	可決

(起立による採決)

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																	
		田島信二	川俣純子	洪井由放	渡辺健寿	久保居光一郎	高徳正治	佐藤昇市	板橋邦夫	水上正治	平山進	佐藤雄次郎	小森幸雄	滝田志孝	高田悦男	中山五男	平塚英教	樋山隆四郎	
議案第32号	国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	平成25年度一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	平成25年度国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	平成25年度後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成25年度介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※掲載は上程順  
※議案第18号～第27号、議案第1号～第9号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され最終日に採決。

## 新たに特別委員会を設置

特定の問題や事件について、特に審査や調査研究の必要がある場合、議会の議決により、特別委員会が設置されます。那須烏山市では既に行財政改革特別委員会と烏山線利用向上対策特別委員会の2つの特別委員会が設置されておりますが、3月定例会の最終日(15日)に新たに2つの特別委員会が設置されました。それぞれの委員会の設置目的及び委員は次のとおりです。

なお、本来、委員会の調査研究は議会の会期中にしか行うことができませんが、どちらの委員会も閉会中も継続して関連する事件に対し調査をすることを申し出し、全会一致により承認されました。

### 再生可能エネルギー促進条例 制定特別委員会

**【設置目的】**  
那須烏山市の地域資源エネルギーを有効活用し、地球温暖化の防止、原発依存からの脱却を目指し、再生可能エネルギーを積極的に導入し、低炭素社会の実現と那須烏山市地域経済発展の調査研究を行い、再生可能エネルギー促進条例を制定するため

【委員】(○は委員長、○は副委員長)

- 樋山隆四郎 ○高田悦男
- 川俣純子 ○洪井由放
- 久保居光一郎 ○高徳正治
- 板橋邦夫 ○佐藤昇市
- 佐藤雄次郎 ○小森幸雄
- 中山五男 ○平塚英教
- 田島信二
- 渡辺健寿
- 佐藤昇市
- 平山進
- 滝田志孝

### 学校給食センター建設工事及び公共工事調査特別委員会

**【設置目的】**  
学校給食センター建設工事及び公共工事に係る調査・研究のため

【委員】(○は委員長、○は副委員長)

- 平塚英教 ○川俣純子
- 田島信二 ○洪井由放
- 久保居光一郎 ○高徳正治
- 佐藤昇市 ○板橋邦夫
- 水上正治

# 平成25年度 当初予算審査

平成25年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の当初予算については各常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会での審査中に提出された意見を要約し、本会議において報告したものを掲載します。

## 総務企画常任委員会

◎所轄する課等  
総合政策課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

◎審査事項  
所管する課等の一般会計の歳入歳出予算

## 総合政策課

○市債残高が過去最高となつている中で、着実に減額していきけるような計画を立て、市民に安心感を与える行財政運営に努められたい。

## 総務課

○市有財産について、今後とも積極的な整理統合に努め、利用計画を明確にして、利用計画のないものについては、市財政負担の軽減のために、スピード感を持って処分できるような方針を検討されたい。

## 税務課

○大口滞納に対する積極的な収納対策を進め、市民の納税感をそがな

いような、実効性ある収納体制の構築と徴収率の向上に努められたい。

## 文教福祉常任委員会

◎所轄する課等  
市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課

◎審査事項  
所管する課の一般会計及び特別会計の歳入歳出予算

## 市民課

○高齢化が加速する本市においては、診療所は来所する傷病者の診療を担うだけではなく、来所できない高齢者等への対応、在宅療養のサポート、疾病予防や健康維持・増進等の様々な役割が期待され、今後その重要性は増してくると思われ。地域との繋がりが、診療所相互間や病院との連携をより密にし、超高齢化を迎える地域での医療の拠点となりうる十分な自力をつけるよう準備されたい。

## 健康福祉課

○施設整備により、待機者が解消されつつあることは喜ばしいことであるが、一方で施設介護は利用者に対する費用負担を求めるといふ側面もある。費用負担がでない世帯が介護保険制度からこぼれてしまうことがないよう住宅介護についても十分な支援策を施されたい。

## こども課

○こども館事業は、高い効果が見られ市民の評判も良好な優良事業である。しかし、施設の老朽化が大きな懸念材料となっている。特に、耐震化がされていないため、子どもたちの安心安全を鑑みると速やかな対策が必要と考へる。現行施設の解体も視野に、施設整備について早急に検討されたい。



地域医療の拠点としての役割が期待される診療所

○児童虐待防止は、デリケートな問題をほらみ、また、危険を伴うもので

あるため、日々苦慮されていることは理解している。今後も虐待の早期発見・早期対応のため、なお一層警察署や児童相談所等の関係機関との連携を密にし、万全の体制で取り組まされたい。

## 学校教育課

○学校教育課で加入する各種団体のうち負担金分担金を伴うものについて、ゼロベースでの見直しを行い、加入の必要がないと判断される団体からは速やかに脱退されたい。

○文武両道教育推進事業については、現時点では方向性がはっきりしていないようだが、せつかくの新規事業である。早急に具体的内容を検討し、より効果的である方法で実施されたい。

## 生涯学習課

○現在、烏山城跡や長者ヶ平官衙遺跡の整備を行っているほか、老朽化した既設のものに代わる新たな歴史資料館の設置を準備しているとのことである。歴史を後世に伝えなければならぬ行政の責務は理解できるが、財政に余裕のない本市においては、投資は限定的に行うべきと考へる。遺跡整備は規模縮小を再考されたい。また、歴史資料館については既存の施設の有効利用について十分に検討し、最小限

の費用でより効果的である整備を行われたい。

○各種施設については、使用者が応分の負担を負うことは当然のことと考へるが、一部団体等に対し恒久的な減免が行われている実態がある。過去に見直しを図った経緯はあるようだが、是正はされていない。再度検討し、施設使用者間はもちろん、施設を使用しない市民からも公平と思える料金体系の構築を図られたい。

## 経済建設常任委員会

◎所轄する課等  
農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

◎審査事項  
所管する課の一般会計、特別会計及び水道事業会計の歳入歳出予算

## 商工観光課

○商工観光全般に渡り、所管する団体及び事業の実情について、さらに徹底した指導・検討をおこなうとともに、それらに関する機能・事業等においてもより成果を得られるよう、より一層の努力をされたい。

## 上下水道課

○有収率10%アップの改善は評価できる。なお一層の有収率の向上に努められたい。

○国・県の有利な制度を

## 都市建設課

活用するとともに、所管の事業においては優先度に考慮して執行されたい。



城東浄水場

## 農政課

○水路等農業施設の老朽化対策においては、施設の長寿命化を図ることを視野に入れて検討をされたい。

○本市の農業の将来を見据え、人・農地プランが各地区の隅々まで浸透するように努めるとともに、その成果が得られるよう努力されたい。

## 環境課

○環境保全のため、太陽光発電に関する事業をさらに推進されたい。また、本市への企業誘致に関連することであるため、関係各課との連携を図り大きな成果が得られるよう努力されたい。

## 議員研修会開催

2月8日(金)に議員と職員を対象とした「議員研修会」を開催しました。これは、無料で行われている栃木県主催の「前講座」を利用し、経費をかけずに議員と職員のレベルアップを図ろうと議員発案により企画されたものです。

当日は県土整備部都市計画課の職員の方を講師にお招きし、「まちづくりと土地区画整備事業」及び「まちづくりと中心市街地活性化」を演題に行われた講演に対し、多くの議員と職員が熱心に耳を傾けていました。



プロジェクターで説明を受ける議員と職員

## 1月臨時議会

1月臨時議会が1月21日(月)に招集され、提出された議案は全会一致で原案のとおり同意、可決されました。その議案は次のとおりです。

- ・ 那須烏山市副市長の選任同意について
- ・ 工事請負契約に関する紛争の仲裁について

# 議会運営委員会

研修報告

昨年11月20日(火)に、小山市議会活性化をテーマに「自治基本条例」「議会基本条例」について、行政視察を行いました。今回は行財政改革特別委員会との合同研修会で、内容の濃い研修となりました。



小山市職員の説明を受ける委員

自治基本条例は「自治体の憲法」とも言われ、地域課題への対応やまちづくりを誰がどんな役割を担い、どのように決めて行くのかを文章化したもので、市民と行政の協働のまちづくりを進めることを基本に本年3月条例制定に向けて準備を進めていることです。

議会基本条例は、開かれた議会を目指し小山市独自の議会基本条例(案)を策定し、パブリックコメントや市内6箇所での市民説明会を開催し、平成23年12月議会で議会基本条例を制定しました。

その後、専門部会により白鷗大学の支援の下、具体的な条例の具現化を図り、報告会運営委員会により、昨年10月に3班編成で議会報告会を開催しました。市民と直接議会活動について意見交換し、市民から大変有意義だったとの声がたくさん寄せられたそうです。

## 議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-881-7114)



# 行財政改革特別委員会

研修報告

昨年の11月20日、行財政健全化を図るため積極的に取り組んでいる先進地である下野市(旧石橋町・南河内町・国分寺町の対等合併)において、視察研修を行いましたので、報告いたします。

研修の目的は下野市の財政状況全般についてでありましたが、その中から特に本委員会が研修すべきと考えた①町合併後の財政運営について②財政健全化への取り組みについて③財政健全化への中長期財政計画等の3項目について下野市の総務常任委員長と財政課長及び職員の方々から詳細な説明を頂きました。

合併後の財政運営の課題については直接税の確保に努めることと投資的事業を厳しく選択することにより合併特例債は限度額の50%の活用を留めるとのことでした。

また財政指標の健全化については、その目的遂行のために旧町間にあった温浴施設等の類似施設の統廃合と人件費削減のために退職職員に対し2分の1不補充とすること。また公債費削減計画を策定して繰上償還をおこなっているとのことでありました。

# 烏山線利用向上対策特別委員会

研修報告

財政健全化への中長期財政計画等については、下野市長期財政健全化計画に財政推計として歳入・歳出の各科目ごとに前提条件等の見込み推計とは言い、増減額の具体的な数値が記載されていきました。

下野市での研修は「入るを量りて出ざるを為す」とある財政計画や「コストパフォーマンスを念頭において財政効果が最大限発揮できるような工夫を働かせた創意と工夫を發揮し、効果的かつ効率的な行財政運営に向けて全庁一丸となって取り組む」と長期財政健全化計画に明記されており、合併特例債の計画的活用を含め財政健全化に取り組む下野市の心意気が職員の言葉からも感じられた研修でした。

翌日は、景観すばらしい八ヶ岳山麓の高原を走るローカル線のハイブリッド車両「こうみ」に乗りいただきました。この車両は、ハイブリッドシステムを搭載した車両で環境に優しく、また、ユニバーサルデザインを採用しており、人にも優しい設計になっています。

本委員会は、昨年10月14日から15日にかけて長野県にあり JR 小海線に「ローカル線利用向上について」「ハイブリッド車両について」視察研修を行いました。

14日は、小海線営業所に訪問し、営業所長さんをはじめ各駅の駅長さん方と意見交換を行いました。この路線は、沿線自治体で連絡協力を設置しており、観光客の増加や利用客の向上に取組んでおり、観光パンフレットの作成、イベント列車の運行(俳句、ワイン、農作物の販売など)などを企画して小海線のPRやイメージアップに努めているそうです。

この車両は、非電化区間の新たな環境負荷の低減方策として「蓄電池駆動電車システム」を採用した新型車両です。今までのディーゼル車から発生する排気ガスや二酸化炭素、騒音の低減が図れることや、スピードアップと電区間までの乗り入れができるなど利便性の向上が期待されています。導入後は、烏山線利用向上のみならず、市全体の観光振興と地域活性化に大いに期待できるものがあります。

本委員会としても待ち望んでいた蓄電池駆動電車の導入が決定し、今後ともより一層、委員会活動に励んでいきたいと思っております。



研修で JR 小海線の中込駅を訪問

本委員会として待ち望んでいた蓄電池駆動電車の導入が決定し、今後ともより一層、委員会活動に励んでいきたいと思っております。

本委員会として待ち望んでいた蓄電池駆動電車の導入が決定し、今後ともより一層、委員会活動に励んでいきたいと思っております。

本委員会として待ち望んでいた蓄電池駆動電車の導入が決定し、今後ともより一層、委員会活動に励んでいきたいと思っております。

## あとがき

議会広報委員会は足利市でホームページについて研修を行いました。「オンブズ栃木」が平成24年5月に県内の各市議会のホームページを閲覧し独自採点を行ったところ(6月2日の下野新聞)県内14市中、足利市が1番で本市は9番目でした。研修を行って見えてきた大きな違いは以下の4点であります。

- (1) 政務調査費について掲載され、収支報告書が掲載されている。(当市は支給なし)
- (2) 議会議員の名簿は個々の写真やホームページ・アドレスなどが掲載されている。
- (3) 委員会の視察報告書が掲載されている。
- (4) 議会改革の流れが掲載されている。

これらの内容を検討、改善して4月1日からアップ(掲載)しました。また、中山議長の意向もあり、条例や議案裁決の結果について、これまでは賛否の数だけを公表していましたが、賛成反対の議員の実名を「議会だより」や「ホームページ」で平成24年12月から公表していきます。

議会広報委員会は市民の皆様が知りたい情報を伝えることを目標に今後も改善に取り組んでまいります。

(渋井 由放 記)

## 6月定例議会は、6月4日(火)開会予定です。

※正式な日程は、5月28日に開催される議会運営委員会で決定されます。



下野市での研修の様子

委員長 久保居光一郎

本委員会は、昨年10月14日から15日にかけて長野県にあり JR 小海線に「ローカル線利用向上について」「ハイブリッド車両について」視察研修を行いました。

本委員会は、昨年10月14日から15日にかけて長野県にあり JR 小海線に「ローカル線利用向上について」「ハイブリッド車両について」視察研修を行いました。

本委員会として待ち望んでいた蓄電池駆動電車の導入が決定し、今後ともより一層、委員会活動に励んでいきたいと思っております。

委員長 小森幸雄